

第 97 回大腸癌研究会 遺伝性大腸癌委員会 議事録

- 日時：令和 4 年 7 月 7 日（木）13：30～14:07
- 場所：浜松町コンベンションホール 5F 大ホール B
- 出席者（五十音順、敬称略、* Web 参加）：

〔委員長〕田中屋宏爾

〔委員〕赤木 究*、石川敏昭、石田秀行、上野秀樹（部分参加、代理：永田 健）、隈元謙介*、小林宏寿（代理：高島順平*）、小森康司*、佐々木和人、主藤朝也*、須並英二、関根茂樹、高雄暁成、高橋佑典*、竹内洋司*、千野晶子*、富田尚裕、長寄寿矢*、中島 健*、檜井孝夫*、平田敬治、松原孝明、三口真司、宮倉安幸*、山口達郎、山田真善。

〔オブザーバー〕秋山泰樹、石丸 啓*、坂元 慧*、重安邦俊*、鈴木陽三*、須藤 剛*、藤吉健司*、別府直仁*、水内祐介。（事前登録したオブザーバーのみ）

- 欠席委員：長谷川博俊、古川洋一

● 報告・審議事項

1. 委員会体制の変更

【資料 1】

委員長は富田尚裕から田中屋宏爾へ交代し、委員は共同研究参加施設を中心に再編して計 28 名となった（旧：48 名）。共同研究代表者は、富田委員が継続することを再確認した。共同研究に関する内規を明文化し、他の関連資料とともにオンラインストレージを用いて共有することとした。

2. 共同研究の進捗状況

『家族性大腸腺腫症(FAP)に関する後方視的多施設共同二次研究』および、『後方視的観察研究による日本人リンチ症候群の大腸病変に対する消化器内視鏡研究』は、データ集積を終了して論文を進めており、それぞれの事務局を担当する山口達郎委員、および千野晶子委員から、進捗状況の報告があった。論文の内容が重複しないようにするための調整方法や、Accept された論文の大腸癌研究会事務局への報告について審議し、規定した。

3. 論文・学会報告

【資料 2】

2021 年 9 月以降に、論文 2 編が掲載され、学会報告 5 件が行われた。

4. 患者さんのためのガイドライン作成委員会への協力

遺伝性大腸癌委員会から 6 名（石田秀行、川崎優子、田中屋宏爾、土井 悟、中島 健、山口達郎）が、「一般向けの大腸腺腫症とリンチ症候群のガイドライン」の作成に関する第 1 回会議に参加した。五井孝憲委員長から、協力するメンバーの増員要請をいただいた。

文責：田中屋宏爾